

「向島ニュータウンのこれからを話し合う集い」開催報告資料

1 集いの概要

- 当日は、約 100 名の住民の方に参加してもらい、テーマごとに活発に意見交換をすることができました。
- テーマごとに普段の暮らしの中で感じている課題を出すとともに、今後のまちづくりを推進するうえで考えられる様々なアイデアが出されました。また、住民自身がまちづくりに関わる大切であることについても意見交換がされました。

目 的	・ 向島ニュータウンの今後の望ましいまちのあり方と、その実現のために何ができるかなどについて、住民や事業活動、社会活動等を実施されておられる方に参加していただき、互いに情報を共有し、話し合い、ともに考えていただく。 ・ ビジョン策定にあたってのまちづくりの気運を高める住民参加型の議論の場とする。 ・ 意見を踏まえた上で、今後のワーキンググループの検討を進め、スタートアップする場とする。
日 時	2016 年 6 月 11 日（土）午前 10 時～正午
場 所	向島藤の木小学校 体育館
参加者	約 100 名 WG への参加想定メンバーの他、向島ニュータウンの住民、事業活動、社会活動等を実施されておられる方
内 容	○6 つのテーマを設け、希望するテーマに分かれていただいた ①すまい ②高齢者・障がい者の暮らし安心 ③子育て充実 ④防災・防犯 ⑤歴史文化・多文化共生 ⑥経済活性化・交通問題 ○自己紹介と「向島の良いところ」紹介 ○テーマ別話し合い「気になっていること・問題意識」「取り組んでいることや成果」「よかったこと」「今後やるべきこと」 ○全体発表

2 主な意見（ワーキンググループへの引き継ぎが想定されるもの）

「向島ニュータウンのこれからを考える集い」グループワークまとめ より作成

グループ	主な意見
①すまい	・ 増加する空き家をまちづくりに活用する ・ 生活ニーズに対応した市営住宅のリフォームを可能にする ・ 中央公園の使い方と管理のあり方を検討する ・ 盗難防止や使い方改善など、駐輪場のあり方を検討する ・ 高齢者が活躍する世代間ミックス居住を実現する ・ 住み続けることができる、選ばれる住宅をめざす ・ 新しい入居者層のすまいニーズに対応する（中国帰国者や震災避難者） ・ 買い物や交通の利便性向上を図る ・ ペットのルールづくり

グループ	主な意見
②高齢者・障がい者の暮らし安心	・高齢者や障がい者の孤立を防ぐ，参加できる場づくり ・高齢者や障がい者参加につながるまちづくり拠点を確保する ・高齢者の見守りと配食活動の参加の輪を広げる ・既存交通手段の活用で，買い物や通院，外出しやすいまちをめざす ・障がい者について，水害などの緊急災害時支援を検討する ・地域ぐるみで災害時要配慮者の情報共有を図る ・要配慮者利用施設や在宅避難者の避難訓練を実施する
③子育て充実	・安心安全な子どもの居場所を広げていく ・食・学習支援などの子どもの貧困対策を広げていく ・小中一貫校を生かして学校・教育環境の充実を図る ・子育ての視点で学校跡地活用を検討する ・人口増につながる住宅をめざして，規制を見直す ・子育てに関わる交流の機会や人のつながりづくり
④防災・防犯	・事前の準備，日頃の備え，まちの備えなど，非常時に備える ・サイレン等による災害時の情報提供について検討する ・街区ごとの取組など，住民間で情報を共有する ・緑道や公園などの暗さや死角など，防犯対策を検討する
⑤歴史文化・多文化共生	・よいところをPRして向島のイメージ向上を ・多国籍，多文化共生の夢のあるまち ・多国籍対応の福祉・医療・教育サービスを検討する ・ニュータウン全体で集う場，活動の場づくり ・24号線による分断に対する一体的なまちづくり
⑥経済活性化・交通問題	・バスの増便等交通問題への対応 ・高齢化社会における買い物難民問題への対応 ・豊かな農業地域であることを生かした活性化を図る ・小学校等跡地の経済活性化での活用を図る ・若い人が帰ってくるまちの魅力づくり

3 参加者アンケート結果（抜粋）

アンケート回収票数 60 票

問 参加して良かったでしょうか	よかった 57 (95.0%) よくなかった 0 (0%) どちらでもない 3 (5.0%)
問 自分の意見を十分に言え，他の参加者の意見を聞くことができたでしょうか	できた 49 (81.7%) できなかった 3 (5.0%) どちらでもない 8 (13.3%)
自由意見	○向島ニュータウンを巣立ち離れて行った子や孫が自分の「ふるさと」は向島だと自慢ができるようなニュータウンづくりを考えていきたい。 ○高齢者，障害者の共存は基本としながらも，若い人がまちのことに取り組める環境をつくるべき。 ○子どもたちが集まることができる拠点を増やすことは，高齢者の生きがいにもつながる。小さい子どもが夜1人での環境をなんとか改善していきたい。